

2020年度 日本頭蓋顎顔面外科学会

専門医認定試験

(お願い)

座席の指定はありません。

前方から順に着席してください。

試験時間	10 : 10	～	10 : 40
------	---------	---	---------

1. 頭蓋顔面骨骨折に合併した髄液鼻漏の急性期における対処として正しいものはどれか

- a) 緊急手術
- b) 鼻かみ遂行
- c) 抗生剤の投与
- d) 鼻腔パッキング
- e) 仰臥位による安静

2. 眼窩先端部症候群では障害され、上眼窩裂症候群では障害されないものはどれか

- a) 視神経
- b) 眼神経
- c) 滑車神経
- d) 動眼神経
- e) 外転神経

3. 頬骨骨折に随伴し得る症状として、合致しない
患者の訴えはどれか

- a) 目が開きにくい
- b) 下口唇がしびれる
- c) 頬がしびれる
- d) 口が開きにくい
- e) 噛んだ感じがおかしい

4. 次のうち，下顎前方歯槽骨切り術（下顎分節骨切り術）はどれか

a) Obwegeser法

b) Kölle法

c) Dingman法

d) Wassmund-Wunderer法

e) Robinson法

5. 小耳症軟骨移植について正しいものを選び

- a) 手術時期は5歳頃が最適である
- b) 聴力改善手術を同時に行うことが必須である
- c) 術後に再建耳介を保護する必要はない
- d) 肋軟骨は硝子軟骨である
- e) 耳介軟骨は線維軟骨である

6. 頭蓋縫合早期癒合症について、正しいものはどれか。
ひとつ選べ

- a) Crouzon症候群は、常染色体劣性遺伝を生じる
- b) Scaphocephalyは冠状縫合の早期癒合により生じる
- c) Apert症候群では眼窩間距離が短縮する
- d) Pfeiffer症候群ではCloverleaf skullを呈することがある
- e) 手術侵襲の大きさから1歳以降の待機手術とする

7. 頭頸部再建で移植床血管として用いる血管について、誤りはどれか

- a) 頸横動脈は鎖骨下動脈から分岐する
- b) 上甲状腺動脈は、外頸動脈の最初の分枝である
- c) 頸動脈鞘内で、内頸静脈は総頸動脈より外側に位置する
- d) 外頸動脈の分枝のうち、顔面動脈は舌動脈より末梢で分岐する
- e) 総頸動脈から分岐する2本の動脈のうち、前方を走行するのが内頸動脈である

8. 顔面の美容外科手術で誤りはどれか

- a) 下眼瞼除皺術では、皮膚の取りすぎによる眼瞼外反が問題となる
- b) フェイスリフトは最近、施術数の9割以上が非切開によるスレッドリフトで、切開法の施術は僅かである
- c) 世界的には乳房や躯幹、四肢と言った体型に関する美容外科手術が過半数を占めるが、日本では、顔面が9割を占める
- d) 眼窩脂肪のコンパートメントは、上眼瞼で2つ、下眼瞼で3つに別れる
- e) 鼻尖の形態に主に関わるのは外側鼻軟骨である

9. 口唇口蓋裂について正しいのはどれか

- a) 白人に最も多く発生する
- b) 口蓋裂単独発生例は女性に多い
- c) 日本人では約1,500人に1人生まれる
- d) 口唇裂は通常胎生7～12週に形成される
- e) 口蓋裂を伴った口唇裂群の左右別発生頻度では右側に多い

10. 下顎前突症に対しObwegeser-Dal Pont法により咬合と顔貌を改善した。変化しないのはどれか

a) SNA

b) SNB

c) ANB

d) 下顔面高

e) 下顎下縁平面角